

図書館Webサイトのリニューアル

1 概要

2016年9月7日に図書館Webサイトのリニューアル(日本語・英語)を行った。本件は、2013年度より開始された大学全体のWebサイトリニューアル計画の一環として行われたものである。今回の全学共通システムでは、ビジュアルを組み込んだニュースを、シンプルかつ様々な端末に対応して発信できるようになった。

2 サイトの特徴

(1) デザインについて

デザインや配色は全学共通の構成だが、リニューアルにあたり図書館として心がけた点をいくつか紹介する。

TOPページ画像

TOPページの1枚目の画像には早稲田大学図書館がー



画像① 図書館TOPページ



画像② 古典籍総合データベースの資料画像を用いた「春」の図書館TOPページ『其由縁雪月花の見立あさつま／芳虎 画』より

目で分かるように、中央図書館の外観写真を用いた。2枚目の画像には、古典籍総合データベースから、四季をテーマとする資料を選定し、季節ごとに差し替えることとした。本学では、国宝2点、重要文化財5件を含む豊富な貴重資料を所蔵しており、TOPページ画像を通して、より多角的な面から館蔵資料を紹介する場を設けたいと考えたものである。

TOPページでの公開後、SNS(Facebook, Twitter)でも合わせて紹介するなどし、数多くの反響を得ることができた。

お知らせ

「ニュース」、「イベント」、「特集」のエリアを設けた。「ニュース」には図書館からのお知らせを集約し、「イベント」にはその月に行われるイベントが表示されるようにした。「特集」には大きなイメージ写真を配置し、より注目されやすいように工夫した。

(2) カレンダー機能

図書館ごとにGoogleカレンダーを活用し、TOPページに配置して、利用者にスケジュールを公開した。従来のものよりも、色分けなどを工夫して見やすさの向上に努めた。

3 今後の課題

Webサイトによる利用支援・研究支援にとって常に問題となるのは、コンテンツを充実させつつ、同時にサイト構造をシンプルに分かりやすく保つことにある。たとえば(これらは現時点ではリニューアルサイトに組み込んでいないが)、「WINE(OPAC)」、「学術情報検索」、「電子ジャーナルポータル」、「古典籍総合データベース」、「早稲田大学リポジトリ」などのデータベースは種類が豊富な一方、それぞれが単独に存在しており、初心者には分かりにくいという声もある。今後もより適切な導線・レイアウトを検討し、利便性を高めていきたい。